

## 「地域で活動している民間団体の紹介」

前回までは、県や市のトキ野生復帰に向けての取り組みや計画を紹介してきましたが、今回からは、日ごろ地域で活動している民間団体が加盟している「トキの野生復帰連絡協議会」の中から、協議会の座長を務め、生槽<sup>ほしごき</sup>で環境保全型農業を営んでいる高野毅さんとNPO法人トキとき応援団を紹介しします。

トキの野生復帰に向けたボランティア活動の現状と想い

高野 毅

自然とふれあう環境を見直すという社会のすう勢から、消費と生産の枠を越えて都市と農村の相互間の交流も深まっている。トキの野生復帰は、トキだけでなく佐渡島民にとっても転換期、新制佐渡の発展と活性化への明るい兆しととらえても



生槽の柵田とピオトープ

過言ではないだろう。将来のえ

さ場やねぐらとなる中山間地の

柵田や里山の整備など、地元N

POや環境団体・生産者組織・

大学校・島内外のボランティア

グループ等の支援も交えて様々な

活動が展開され子供たちや住

民も参加し、自然や環境保全へ

の意識も高まっている。潟上水

辺の会とトキの野生復帰連絡

協議会では、トキ交流会館を軸

に昨年から新潟の小中学校の総

合学習の環として、自然とふれ

あいピオトープづくり体験学習

や生き物調査等を受け入れて

きました。平成16年度は15校7

50名が参加、17年度は、22校

1017名が参加し、生徒や学

校・観光関係者から高い評価を

いただいています。小さな実績で

はありますが島民の皆様方から

温かく迎えただき、体験学習



体験学習(ピオトープづくり)

や滞在型観光など新たな産業として、佐渡の活性化と発展の礎となることを信じて活動を継続していきたい。

トキですてきな島づくりを

特定非営利活動法人トキとき

応援団(事務局：仲川純子)

トキとき応援団は平成14年

6月17日設立、会員数は島内外

合わせて約70人、トキの野生復

帰を支援する民間団体です。ト

キの野生復帰が佐渡の環境、農

林水産業、観光等、私たち島民

の未来にいろいろな可能性をも

たらしてくれるという考えで活

動を続けてきました。名前の由

来は、「トキ」に「ときとき」を掛

けたもの。気軽にときとき、気

長にやるといふ精神を表して

います。トキの野生復帰には息の長い取り組みが必要だからこそ、無理しては続きません。しかし、そんなトキとき応援団も今年6月23日に特定非営利活動法人(いわゆるNPO法人)の認定を受け、社会的にも責任ある立場になりました。これを機にさらに活動の幅を広げていこうと思っています。現在の活動は月に1回の勉強会とトキのえさ場作り。わかりやすくするために「勉強会」は入場無料。清水平での「トキのえさ場作り」は春には山菜取り、秋にはきのこ汁を味わいながら楽しく作業をしています。会員以外の方の参加も大歓迎!みなさんもトキとき応援団の活動に参加して、佐渡の自然を楽しんでみませんか?

トキとき応援団のホームページ



トキとき応援団と学生ボランティア(清水平にて)

<http://park18.wakwak.com/tokidoki/>

環境保健課トキ推進室

(新穂農業構造改善センター2階)

☎ 22 3111

トキ野生復帰PRパネルのキャッチコピー募集

2008年に予定されているトキ放鳥に向けて、市民や来島者に広くPRするため、トキの野生復帰を印象づけるキャッチコピーを募集します。

募集期限 9月5日(月)当日消印有効)

・字数の制限はありません。

・採用作品の著作権は佐渡地域振興局に帰属します。

・応募作品は未発表のものに限りません。

応募方法 はがきまたは電子メールで、キャッチコピー、住所氏名、年齢、連絡先を記入して応募してください。

応募先

〒952 1555

佐渡市相川二丁目20 1

佐渡地域振興局地域振興課

E-mail

t1111a5@mail.pref.niigata.jp

主催 新潟県・佐渡市